

# 事業報告

(自令和2年3月1日から至令和3年2月28日まで)

## 1. 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及び成果

#### ① 全般的概況

わが国では、新型コロナウイルスの感染拡大により年度初めに出された緊急事態宣言を受けて経済活動が停止し、景気は急速に悪化しましたが、宣言が解除されると個人消費を中心に緩やかな持ち直しへ向かいました。年末にかけて、再び新型コロナウイルスの感染者数が増加し、年明けに2度目の緊急事態宣言が出されると、景気は再び停滞しましたが、年度末には全国で緊急事態宣言が解除されたことで持ち直しに向けて動き始めました。

住宅業界においては、新設着工戸数は持ち家について年度後半で持ち直しへ向かったものの累計では前年を下回りました。また、原材料価格の高騰や、慢性的人手不足による変動費、人件費等の上昇が懸念されるなど、引き続き厳しい事業環境が続いています。

このような状況の中、当社グループでは、中期ビジョン“ESG（環境、社会、企業統治）に優れた日本一の注文住宅・まちづくり企業”を目指し、価値あるモノ・コト・ヒトに先行投資することで、持続的な成長と企業価値向上を目指し取り組んで参りました。この結果、当連結会計年度における売上高は、46,223百万円、営業利益1,217百万円、経常利益1,462百万円、当期純利益872百万円となりました。

#### ② 事業別概況

##### <住宅建築事業>

住宅建築及び不動産を扱う事業では、顧客との接点を確保すべく、顧客が安心して住まいの検討を行うことができる感染症対策を講じました。具体的には、クリーンモデルハウス宣言、顧客が非接触で展示場を見学することができるロボットを活用した無人展示場の設置、オンラインセミナーの開催等を実施しました。また、現代に適した価値ある住まいを適正な価格で提供すべく、設計の自由度とコストパフォーマンスを向上した「大空間の家」、ウィルス対策に加え環境配慮・家計応援・災害対策を標準化した「地球と家計にやさしい家」を発売しました。

加えて、地域に根差すホームビルダーとして、災害時に地域住民の暮らしを守る支援施設として機能する住宅展示場を増強し、地域社会への貢献に取り組みました。また、木材を通じた環境保全の取組みとして間伐材を活用した、“カンナ削りの木のストロー”の普及活動を通して、地球環境共生を広く訴求し、第29回地球環境大賞農林水産大臣賞など複数タイトルを獲得、持続可能な社会に向けた当社の取組みが高く評価を受けました。

以上の結果、当事業セグメントでは、受注棟数1,774棟、引渡棟数1,469棟となり、売上高は41,531百万円となりました。

##### <工務店支援事業>

工務店へのノウハウ提供、及び工務店ネットワーク「ジャブネット」「スマートアライアンスビルダー（SABM）」の運営を行う工務店支援事業においては、アキュラグループのインフラを活用した業務連携を深め、地域ビルダーがFCや大企業の傘下に入ることなく経営の独自性を維持しつつコロナ禍の経営危機を乗り越える支援を行って参りました。

以上の結果、当事業セグメントでの売上高は575百万円となりました。

(2) 会社が対処すべき課題

新型コロナウイルス感染症に続き、年度後半より顕在化してきた世界的な木材の価格高騰または調達難（ウッドショック）により、一層厳しい事業環境となっています。

この影響は、当面続くものと予測され、当社グループにおいても、顧客などステークホルダーへの波及を抑えるとともに、更なる経営効率の改善が求められるものと認識しています。当社グループは、業界が迎えつつある変革期を、チャンスと前向きにとらえ、新時代の注文住宅事業者のあるべき姿を模索し続けて参ります。

(3) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(4) 設備投資の状況

設備投資金額は 1,030,195 千円でした。主な内容は、展示場出展です。

(5) 直前 3 事業年度の財産及び損益の状況

(1 株当たり当期純利益及び 1 株当たり純資産以外は単位：千円)

区 分	平成 30 年度 第 34 期	平成 31 年度 第 35 期	令和 2 年度 第 36 期
売 上 高	38,744,983	46,515,235	46,223,063
経 常 利 益	108,706	1,553,665	1,462,277
当 期 純 利 益	59,317	1,130,784	872,192
1 株 当 た り 当 期 純 利 益	5,440 円 88 銭	103,722 円 63 銭	80,002 円 95 銭
総 資 産	20,893,701	24,051,243	24,849,156
純 資 産	7,520,851	8,651,632	8,870,031
1 株 当 た り 純 資 産 額	689,859 円 78 銭	793,582 円 10 銭	813,615 円 05 銭

1 株当たり当期純利益は期中平均発行済株式総数、1 株当たり純資産は期末発行済株式総数に基づき算出しております。